



2021年7月20日  
株式会社ヴィンクス

## POSシステムと店舗IoT機器との接続インターフェイスが国際標準仕様として採択

～ヴィンクスが提唱する店舗システムの普及・拡大が期待されます～

流通小売業向けシステム開発などを行う株式会社ヴィンクス（本社：大阪市北区、代表者：代表取締役社長執行役員 今城 浩一、以下「ヴィンクス」）は、小売業のPOSシステムと店舗におけるIoT機器との接続インターフェイスの仕様について、OPOS技術協議会を通じて「UPOS 1.16 RCSD」として国際標準化団体（OMG）に提唱した結果、国際標準仕様としての採択が決定しました。今回の採択により、ヴィンクスが考える次世代型店舗システムの普及・拡大が期待されます。

ヴィンクスは、ハードウェアフリーを提唱し、従来型のPOSハードウェアだけではなく、タブレット、スマートフォン、ショッピングカート、非接触POS等、多様なPOSシステムを実現させてきました。また、自社運営の無人店舗「ヴィンクスストア」等による実証実験を行っております。このように様々な技術が活発に登場するなか、仕様の乱立を避け、標準化を図ることが業界の発展に必要です。今後の店舗システムの拡張を担う様々なIoT機器との接続仕様についても、必要性を提唱した結果、国際標準化が実現したものです。

本仕様の採択は、2017年よりOPOS技術協議会内に「リテールコミュニケーションサービスデバイス分科会」を立ち上げ、ヴィンクスが中心となって標準化仕様の検討を進めてきた活動の成果となるものです。今後は、流通小売業におけるDXを推進するリーディングカンパニーとして、業界の発展に貢献していくとともに、さらなる事業拡大を目指してまいります。

### OPOS1.16 追加仕様

#### 新規仕様（9デバイス）

- |               |            |               |
|---------------|------------|---------------|
| ・ビデオキャプチャ     | ・個体認識      | ・サウンドレコーダー    |
| ・音声認識         | ・サウンドプレーヤー | ・音声合成         |
| ・ジェスチャーコントロール | ・デバイスモニター  | ・グラフィックディスプレイ |

#### 既存仕様への追加（2デバイス）

- |             |      |
|-------------|------|
| ・パワーマネージメント | ・ライト |
|-------------|------|

#### 【ご参考】国際標準化団体(OMG)のプレスリリース

<https://www.omg.org/news/releases/pr2021/06-10-21.htm>

OBJECT MANAGEMENT GROUP ENHANCES UNIFIED POS SPECIFICATION TO SUPPORT RETAIL SERVICE ROBOTS  
(OMGは小売業のサービスロボットをサポートするために、Unified POS仕様を強化します。)

<https://www.omg.org/spec/UPOS/1.16/Betal/PDF>

Unified POS RCSD, v1.16

#### 【注釈】

- ※1 OPOS 技術協議会 (Open Point of Service 技術評議会)  
オープンで多様なPOS端末の実現とPOSアプリケーション開発の生産性向上を目指した技術協議会です。Object Management Group (OMG) と密接に連携を保ちながら活動を展開し、日本市場独特のPOS周辺装置仕様の国際統一仕様への反映、策定仕様の普及などを行っています。
- ※2 OMG (Object Management Group)  
オブジェクト指向技術の標準化を普及させるために1989年に米国ボストンで設立された国際的な非営利団体で、世界各国のICT関連企業・ICTユーザー・大学・研究機関・政府機関などで構成されています。
- ※3 UPOS (Unified POS)  
周辺機器をPOSシステムに接続するための世界標準仕様です。動作環境に応じて、OPOS、JavaPOS、POS for .NET の三種類があります。

#### <本リリースに関するお問合せ先>

株式会社ヴィンクス

企画本部 経営企画部 TEL : 03-5637-7675

お問合せフォーム : <https://www.vinx.co.jp/contact/>

以上